

令和6年度 名古屋市環境科学調査センター

参加無料
事前申込制 先着100名

調査研究発表会

日時 令和7年2月7日(金) 14:00~16:30 (13:30開場)

会場 愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

～プログラム～

PFAS
PFASってなんだろう?
～名古屋の川にも存在するの?～
14:10-14:40 主任研究員 長谷川 瞳

最近、テレビや新聞で見かけるPFAS(有機フッ素化合物)という物質をご存知ですか?
名古屋の川にはどのくらい存在しているのか、調査を行った結果についてお話しします。

**自然共生サイト「なごや東山の森」での
水質調査結果について
～湿地機能保全に着目して～**
14:40-15:10 主任研究員 山守 英明

東山の森の天白梁湿地において、湿地機能保全のための水質調査を実施しました。
観測井戸での採水による成分測定と現場での水質計を用いた変動測定の結果について解説します。

休憩&ポスターセッション 15:10-15:30 →詳細は裏面へ

名古屋地域における新幹線鉄道騒音の測定事例について

15:30-16:00 主任研究員 樋田 昌良

名古屋地域を走る新幹線、そこから出る音にはどのような傾向があるのでしょうか。
騒音の変動要因の事例について紹介します。

名古屋の夏の暑さを和らげるクールスポットって!?

～温度調査からわかる暑さ対策の効果～
16:00-16:30 主任研究員 中島 寛則

年々夏の暑さは厳しくなっており、名古屋ではヒートアイランド現象の影響もみられます。
この名古屋の夏の暑さを和らげるため、歩道に湧水を連続的に通水する取り組みを実施しています。
その地点などで温度を測定しましたので、その結果と効果について報告します。

申込方法

令和7年1月14日(火) 午前9時から受付開始

右に記載した二次元コードからお申込みいただくか、下記の必要事項を明記のうえ、電話、ファクス、Eメールのいずれかでお申込みください。

●必要事項

- 1 氏名
- 2 電話番号 及び Eメールアドレス
- 3 住所(区まで)
- 4 ご所属(企業・団体・学校等) <任意>

こちらから
申込みできます



<https://logotom.jp/fwoEAS>

応募は先着順(定員100名)で受付です

いただいた個人情報は、当センターからのご案内やご連絡のみに使用します。
ご本人の承諾がない限り、上記の目的以外に使用、第三者に提供することはありません。
・当センターの広報活動の一環として、当日撮影した写真、動画を使用させていただきます。

お申込み・お問い合わせ



※調査研究発表会のアーカイブ動画を
YouTubeチャンネルで後日配信予定です。
昨年夏の調査研究発表会のアーカイブ動画はこちら→

名古屋市環境科学調査センター(名古屋市南区豊田五丁目16番8号)
TEL:052-692-8481 FAX:052-692-8483
E-Mail: a6928481@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp

ポスターセッション 発表内容

**水中のDNAから、そこに
すむ生きものかわかる!?**
～環境DNAを用いた市域的な池に
すむ魚類調査結果～
研究員 岡村 祐里子

池や川の水中に含まれる気体DNAからそこにすむ生きものDNAからそこにすむ生きものを調べ、単語に追加して、この特徴を利用することで、何年間の雨水からできているかを知ることができます。市内の地下水が「何歳」なのかを調べました。

名古屋の地下水は何歳?
～フラッグ化調査を利用した年代判定～
研究員 森 健次

全国的に環境基準が達成されておらず、養生構構が不明な光化学オキシダント。今回は、関係している00Cの生体と関係している00Cの生体と関係するために、調査の結果を報告します。

名古屋の空気を知らう!
～環境有害化学物質(00C)について～
研究員 上田 真久

大気をただよぶマイクロプラスチックの実態を探る～目に触れないけどなタイヤのかけらを探します～
研究員 池邊 文敬

大気をただよぶマイクロプラスチックの実態を探る
～目に触れないけどなタイヤのかけらを探します～
研究員 池邊 文敬

近年、大気中にただよぶマイクロプラスチックとして自動タイヤの粉じんが注目されてきています。大気粒子中のタイヤ由来の化学物質を分析し、その実態を調査した結果を報告します。

会場のご案内

愛知芸術文化センター

名古屋市東区東桜一丁目13番2号

地下鉄 東山線「栄」駅下車、徒歩3分
(オアシス21から地下連絡通路 または 2階連絡橋経由)

